

**第5章**  
**子ども・子育て支援に関する**  
**自由意見**



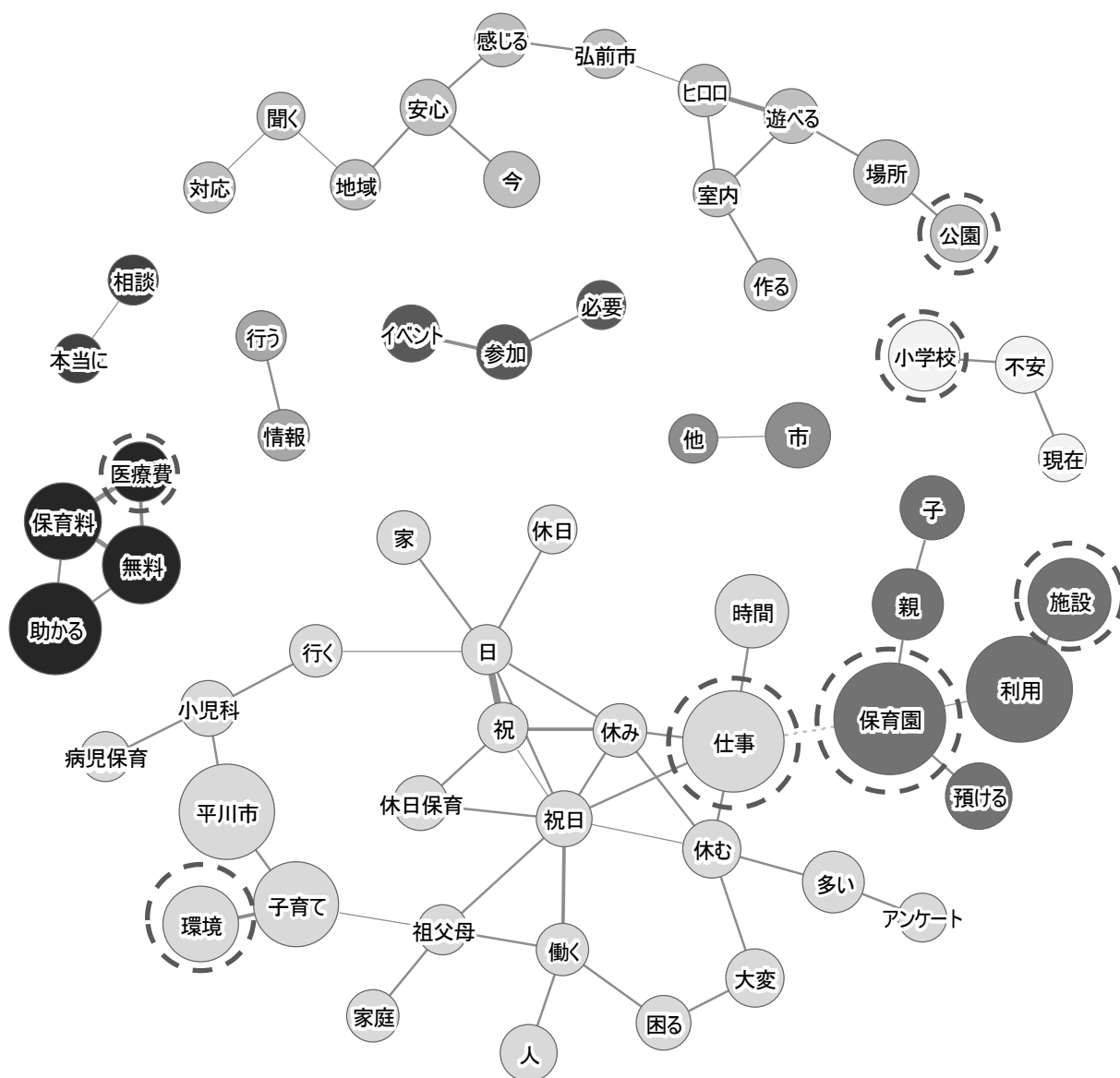
## 第5章 子ども・子育て支援に関する自由意見

### 1 就学前児童の保護者の自由意見

#### (1) 共起ネットワーク

下図は自由意見の「どんな言葉が多く出てきていて、どの言葉とどの言葉と一緒に使われていたのか」を表した共起ネットワーク図で、強い共起関係ほど太い線、出現数の多い語ほど大きい円となっています。

共起ネットワーク図からみられる皆さんの関心の高い単語を抽出し、自由意見としてまとめます。



## (2) 教育・保育環境の充実についての自由意見

子ども・子育て支援に関連する、出現数が多いグループで自由意見の言葉の頻度を計算し、代表的な意見を記載しました。

### ■抽出語件数

抽出語	保育園	仕事	施設	環境	小学校	医療費	公園
件数	51	39	39	30	23	19	16

### ■就学前児童の保護者の自由意見

抽出語	件数	自由意見
保育園	51	保育園の預かってくれる時間が19時までになり、仕事柄困っています。仕事を辞めずにお迎えに間に合わせる為、就業中の休み時間を削り休日出勤をしないと仕事を終えることが出来ず、体力の限界とストレスで一杯です。平川市にもせめて20時21時まで希望があれば預かってくれるところがあればいいです。
		市等で病児、病後児の預かり施設を作ってほしい。弘前の施設は小児科で行っているが一日三名ほどでなかなか利用できない。ほぼできない。しかも利用料も高い。保育園でもそういう施設を併設して欲しい。
		一時保育を申込もうとしても保育園側の日程的制約がありすぎて断られることがある。先生方の人数が足りないため預かれない。とも言われる。(園によるようで他の園におねがいするようになった)一時保育事業を行っているとHP等にも書いている場合もある程度その対応ができる体制を整えておいてほしい。
		以前の保育園で男性保育士による不当な扱いを受けたことがあり、安心して子を預けられるように、今後増えるであろう男性保育士をとり入れる場合の一定の規定やチェック体制を整え、市で導入して欲しいです。何かあってからだと遅いと感じます。園によってバラつきがあるのではなく、市で統一して取組んで欲しいです。
		保育園は就労などで育児ができない子供を預かる所だと思いますが、現代は、祖父母も就労する時代で、子育てしている親のニーズが就労だけではなくなっている、せめて、兄姉の卒業式や入学式、3才以下の子供が参加しづらい学校行事などには、保育園の一時保育の理由として理解して欲しい。平川市としても、保育園側へ理解と協力を統一してほしい。
仕事	39	月～土曜日まで休みなくフルタイムで仕事しています。朝は8：30～夕方18：00迄。平日の休みはありません。子供が風邪をひいても休みにくい環境ですし、平日にしか足せない用事もできません。どうか週休二日制の義務化を希望しています。小さい子供を育てやすい環境にしてください。もっと子供と一緒にいたいし、自分もゆとりのある心で接したいのでどの企業も必ず週休二日制にしてください。「義務化」にしないと、小さな企業は守ってくれません。
		子どもが小学1年生の時に時短勤務や休職することができるようになればいいと思います。現在の職場では、就学前までは時短勤務を申請できますが、就学前は子ども園を利用できるので必要なく、就学後にはそのような勤務軽減がないので、小学校入学後の仕事と子育ての両立に不安があります。

		<p>平川市の子育て環境には、おおむね満足している。子どものことで仕事を休みづらい、子どもがいて仕事が続けるのが困難だ。妊娠を機に仕事を辞めざるを得なくなった、実際辞めた。いくら環境を整備しても支援が充実しても、利用する側が知らない利用せざるを得ない人への理解が無ければ利用したくても利用できない。周知徹底が足りてないのでは？と思う。</p> <p>仕事と家庭の両立は難しい。突発的な保育に適応してもらえる所が少ない。(予約では意味なし) 結局、自分達で休むしかない。有給も0になり、欠勤。給料減る。役所は祖父母を頼ってと言うが祖父母も元気で若い人ばかりでない。アンケートが長い。子育て支援って何ですか？どこまで？って感じがする。子供手当てを増やしてもらえただけでもいいんじゃないかと思う。生活できるので。</p> <p>普通の障害のない子であれば、地域や保育等とても充実していると思いますが、障害のある子の地域の援助や保育、親の仕事面に関して、さらには小学校等年齢が上がった場合の学校や放課後の預かりも全く整っておらず(特に身体障害が重い方)、もう少し充実させてほしい。そうでないと仕事を続けられず、生活に関わってくるため。</p>
施設	39	<p>幼稚園や保育園の先生方の保育力をもう少しあげて欲しい。弘前市のヒロロにあるヒロロスクエア(子育てスクエア)や黒石市のまーなのような未就学児が親子で遊べる施設を作りたい。松崎、大坊方面にも公園を作りたい。幼児サポート教室をもっと周知させてほしい。(園へも家庭へも)</p> <p>もう少し障害児の住みやすい、理解のある小学校や施設、イベントなどあってほしい。今ある所は少なすぎて合う合わないもある。理解(自閉症への)ある人が本当に少なくてこまっている。</p> <p>早朝の放送がうるさくあまりに長いお知らせで子供が目覚まし、朝の支度に時間がかかり大迷惑です。→農家の集まりや回覧板対応して欲しい！病院(緊急時)対応施設が無い事。田舎～現代の子育てを取り入れてほしいです！</p> <p>雨天や雪の日でも体を動かせるような施設があれば良い。(ドームや体育館を除く)→ヒロロや青森のラピナなど未就学児があそべる場所、赤ちゃんは赤ちゃんコーナーで思う存分ハイハイできるスペースなど。</p> <p>調査票の中には「ファミリー・サポート・センター」とありますが、聞いた事がなく、どのような施設なのかわかりません。祖父母が高齢になってきており、子供を預けるのも心苦しい時があります。保育園や児童クラブ以外にも預けれる所があれば仕事をしてても今以上に安心して仕事ができると思います。</p>
環境	30	<p>スポーツ少年団等にも通いやすい環境にすることで平川市の子どものスポーツ向上にもつながると思う。</p> <p>男性が子供とかかわりやすい環境にしてほしい。子供がいる男性は残業をへらすとか育児に参加しやすいようにしないとお母さん達やいつも子供をみる人ばかりに負担がいくような気がする。</p> <p>児童クラブの質、環境がとても悪いのが気になる。でもそこしか預け先がないので仕方なく預けているがトラブルがとても多く困っている。</p> <p>未就学児の環境はそこそこ充実しているが将来的に就学した時の学童保育の環境をもっと充実させて欲しい。</p>

		公園の環境整備（遊具があそべないままになったりしている所が平川、弘前多すぎる）平川市内での習い事の種類が少なすぎる。（送りむかえを考えると市外へ出なければならぬため、やりたい、やらせてあげたくてもやらせてあげられない）
小学校	23	現在、小学校地区外の園に通っていて本人にそこに馴染んでいるがたまにクラスの子と違う学校になることを不安がる様子もみせています。人数制限もあり学区内の園に通うことになったのに小学校は基本的に学区内へではなく子供の様子も見て学区外の小学校への通学がもう少し気軽に選択できるようにしてほしいです。
		大坊小学校学区に住んでいますが全学年で20人くらいしかいないと聞きました。個人的には大人数の中で揉まれて成長して欲しいと思っています。早期の学校統廃合を望みます。
		少子化なので子供が小学校に入学する時、通学するにあたり通学バスが巡回している地域が一部ありますが、全部の地区に通学バスが巡回するようになると安全な気がします。先日おきた苗生松の事件などがあると親の管理下のもと帰宅ももちろんですが、集団で、バスなどで、帰り、学童等に行くという感じになれば仕事をしている親としても急に仕事を抜けられなくても安心できます（学童前提で言いましたが…）バスの経費等（維持費など）学級費で徴収するなどすれば子供が大切だと思う親なら賛成してくれると思います。（学級費も支払わない親もいるとよく聞きますが…そこは難しい所ではあると思います）都会だからこそ起きる事件とも思っていますが、今は世の中物騒なので田舎でも安心なりません。
		保育園、幼稚園、小学校との協力を強くしてほしい。（学区内は特に）子供どうし交流や、小学校のグラウンドの開放。（保育園によっては園庭がせまいので）
医療費	19	第2子以降の保育料免除や、医療費の免除など、平川市の子育てに関する施策は、子を持つ親として、とても助かっています。市に感謝しております。私は、自身の家庭についてというよりも、1歳6ヶ月健診や、3歳6ヶ月健診で「発達障がい」の可能性のあるお子さんや「気になるお子さん」に対しての保護者さんを含めたケア、またこども園や保育園にもそういうお子さんがいて、保育士さん方が一生懸命対応している現場をみると、どうにかならないものかと、個人的に考えてしまいます。
		第2子保育料タダは、ありがたい。弘前のように同時に2人入っていないとダメとかだと意味ない、医療費もありがたい。平川市にも小児科（専門）があるといい！病児施設も各保育園にあるとなおよい。もしくは市の中心あたりに施設があればいい。
		子どもの為の医療費や保育料など本当に助かっています。中学校までと言わず高校（18才）まで延長されるようにと願っています。習い事などさせたいときにいろいろ相談できる場所、情報を提供してくれるなどの対応も望みます。
		2人目から保育料無料はとてもありがたかった。他の市ではやっていないので、医療費控除もとても助かる。こどもは直に病気になりやすいので料金をきかせずに必要な医療をうけることができるとも助かっています。中学校卒業まで医療費免除が続くのはとてもいいと思う。

公園	16	<p>歩ける範囲の場所に小さくてもいいので公園がほしい。インターナショナルスクールもいいと思う。</p>
		<p>もっと子供が遊びに行けるような場所があるといい。公園以外にも動物園などの家族で楽しめる場所がほしい。あと、飲食店やデパートなどもあれば市街まで買い物にいかなくてもいいので楽になる。</p>
		<p>歩いて行ける公園が近くにあったらうれしいです。車通りがすくないので仕方ないのですが、家の近くには歩道がなく、小学校の登下校時、歩かせるのが少し不安です。</p>
		<p>室内に遊具をおいている施設があるといい（基本毎日解放）雨の日に遊ばせる場所が近くになくて困る。公園（中央公園や猿賀公園など）はすごくいい。が、小学校高学年～中学生くらいの子が小さい子がいても遊具に居座ったりして遊具であそべないことが多々あった（中央公園）。また、遊具ですごい勢いで鬼ゴッコなどしていて小さな子にぶつかってしまったこともあった。交番も近くにあるので、ポスターなどでよびかけると共に、定期的に見回りしてほしい。</p>





# 資料編



# 資料編

## 1 就学前児童の調査票

就学前児童の保護者の方へ

### 子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、お父さん・お母さんの方で記入してください。  
(無記名です。氏名・住所の記入の必要はありません)
- ご回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。  
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある( )内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時~18時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。  
平川市役所子育て健康課子ども支援係 電話44-1111(内線1151・1152)

調査実施の趣旨とその目的

あなたがお住まいの市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度(以下『子ども・子育て支援新制度』といいます。)\*の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする第1期子ども・子育て支援事業計画を平成27年度に作成し、計画的に給付・事業を実施しています(第2期計画は平成32年度から36年度まで)。

本調査は、この第2期計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望は変更していただくも構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に応じて、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長過程の中では、乳児期におけるしっかりと愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達とともに、一人ひとりがかけがえない個性を存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、その環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をともに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たす上で、子育てでの権利を享受することが可能となるよう、支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する保護者の負担や不安、孤立感を和らげる助けとなることで、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合い、親として成長するとともに、子育てや子ども自身の成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、より充実した支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます

(用語の定義)  
この調査票における用語の定義は以下のとおり

**幼稚園**：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)

**児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)**

**保育所**：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第4項)

**認定こども園**：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第4項)

**子育て**：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

**教育**：開14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、開15以降においては幼児期の学校における教育の意味

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 松木小学校区	2. 大町小学校区	3. 小和町小学校区
4. 松崎小学校区	5. 竹部小学校区	6. 平賀東小学校区
7. 碓ヶ岡小学校区	8. 金田小学校区	9. 猿賀小学校区

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。 ※(□内に数字でご記入ください)

平成 □ □ 年 □ □ 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。  
※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。  
※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)

きょうだい数 □ 人 末子の生年月月 平成 □ □ 年 □ □ 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからの関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他( )

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶者についてお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。  
※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他( )

宛名のお子さんの育ちをめぐめる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。  
※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園  
6. 保育所 7. 認定こども園 8. その他( )

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)にもっとも影響を与えようと思う環境は何ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所  
5. 認定こども園 6. その他( )

**問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいですか。(あてはまる番号すべてに○)**

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる  
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
5. いずれもない ⇒ 問10へ

⇒ 問9-1へ  
⇒ 問9-2へ

**問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方うかがいます。**  
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる  
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きき心配である  
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きき心配である  
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
5. 子どもの教育や発達にとっさらさわしい環境であるか、少し不安がある  
6. その他( )

**問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方うかがいます。**  
友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる  
2. 友人・知人の身体的負担が大きき心配である  
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きき心配である  
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
5. 子どもの教育や発達にとっさらさわしい環境であるか、少し不安がある  
6. その他( )

**問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいですか。また、相談できる場所はありますか。(あてはまる番号すべてに○)**

1. いる/ある ⇒ 問10-1へ 2. いない/ない ⇒ 問11へ

**問10-1 問10で「1.いる/ある」に○をつけた方うかがいます。**  
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人  
3. 近所の人 4. 子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO  
5. 保健所 6. 保育士  
7. 幼稚園教諭 8. 民生委員・児童委員  
9. かかりつけの医師 10. 自体の子育て関連担当窓口(健康センター)  
11. その他 [ ( ) 例) ベビーシッター ]

4

**問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。**

**宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。**

**問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。**

(1) 母親 (あてはまる番号1つに○) ※父子家庭の場合は記入不要です

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない  
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である  
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない  
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である  
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない  
6. これまで就労していない

⇒ (1)-1へ  
⇒ (2)へ

(1)-1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方うかがいます。  
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。  
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり  日 1日当たり  時間台

(1)-2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方うかがいます。  
家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。  
※時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
※時刻は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻  時台 帰宅時刻  時台

5

(2) 父親 (あてはまる番号1つに○) ※母子家庭の場合は記入不要です

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・介護休業中ではない  
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・介護休業中である  
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・介護休業中ではない  
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・介護休業中である  
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない  
6. これまで就労していない

⇒ (2)-1へ  
⇒ 問14へ

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方うかがいます。  
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。  
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり  日 1日当たり  時間台

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方うかがいます。  
家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。  
※時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
※時刻は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻  時台 帰宅時刻  時台

**問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方うかがいます。** ⇒ 既読み4414頁、問14へ

**フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)**

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある  
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない  
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)での就労を続けることを希望  
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある  
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない  
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)での就労を続けることを希望  
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

6

**問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方うかがいます。** ⇒ 既読み4414頁、問15へ

**就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)**  
※該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)  
2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったころに就労したい  
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)  
② パートタイム・アルバイト等(①以外)  
→1週当たり  日 1日当たり  時間台

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)  
2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったころに就労したい  
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)  
② パートタイム・アルバイト等(①以外)  
→1週当たり  日 1日当たり  時間台

7

### 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している → 問15-1へ      2. 利用していない → 問15-5へ

問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方に向かいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	6. その他の認可外保育施設
7. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	8. その他

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※1 週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に数字でご記入ください。※時間は、必ず(例)08時～18時のように24時間体制でご記入ください。

※2つ以上回答された方は、若い番号の事業についてお答えください。

(1) 現在

1週当たり  日      1日当たり  時間(  時台～ 時台)

(2) 希望

1週当たり  日      1日当たり  時間(  時台～ 時台)

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

1. 平川市内      2. 他の市町村(  市・町・村)

問15-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため

2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している

3. 子育て(教育を含む)をしている方に就労予定がある/求職中である

4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している

5. 子育て(教育を含む)をしている方に病気や障害がある

6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である

7. その他(  )

問15-5 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方に向かいます。利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

※「8」に○をつけた場合は、年齢を口内に数字でご記入ください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない

2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている

3. 近所の人や父母の友人・知人がみている

4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない

5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

8. 子どもがまだ小さい(  歳くらいになったら利用しようと考えている)

9. その他(  )

問16 すべての方に向かいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人ものもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外保育施設	10. 居宅訪問型保育 (パピーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 平川市内      2. 他の市町村(  市・町・村)

問16-2 問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. ～12」にも○をつけた方に向かいます。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

1. はい      2. いいえ

### 宛名のお子さんの地域の子育て支援拠点事業の利用状況についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)

1週当たり  回      もしくは 1ヶ月当たり  回 程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業(異体名: すぐく広場)

1週当たり  回      もしくは 1ヶ月当たり  回 程度

3. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号1つに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが利用したい

1週当たり  回      もしくは 1ヶ月当たり  回 程度

2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい

1週当たり 更に  回      もしくは 1ヶ月当たり 更に  回 程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

※①～⑦の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A		B		C	
	知っている	これまで利用したことがある	知っている	これまで利用したことがある	今後利用したい	
①リノママ教室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②子育ての総合相談窓口 (子育て世代相談支援センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥幼児サポート教室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌・子育てアプリ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用を除きます）。

(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

問20-1 問20の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため  
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手伝いが必要のため  
4. 息抜きのため  
5. その他( )

問21 「幼稚園」を利用している方にうかがいます。⇒該当しな方は、問22へ

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない  
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい  
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

問21-1 問21で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため  
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため  
3. 親等、親族の介護や手伝いが必要のため  
4. 息抜きのため  
5. その他( )

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると考えた保護者の方(問15で「1.」に○をつけた方)にうかがいます。⇒利用されたい場合は、問23へ

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. あった ⇒ 問22-1へ 2. なかった ⇒ 問23へ

問22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれ、おおよそその日数も口内に数字でご記入ください。(平日程度の場合も1日と数えます)

1年間の対応方法	日数
1. 父親が休んだ	□□ 日
2. 母親が休んだ	□□ 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを預けてもらった	□□ 日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	□□ 日
5. 病院・病後児の保育を利用した	□□ 日
6. ペビシーターを利用した	□□ 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
9. その他( )	□□ 日

※「7. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問22-2 問22-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病院・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号1つに○)

※日数についても口内に数字でご記入ください。

※なお、病院・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病院・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒ 問22-3へ  
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問22-4へ

問22-3 問22-2で「1.」で、できれば病院・病後児保育施設等を利用したいに○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 地の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業  
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業  
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)  
4. その他( ) ⇒ 問23へ

問22-4 問22-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病院・病後児を他人に看てもらうのは不安  
2. 地域の事業の質に不安がある  
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない  
4. 利用料がかかる・高い  
5. 利用料がわからない  
6. 親が仕事を休んで対応する  
7. その他( )

問22-5 問22-1で「3.～9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(あてはまる番号1つに○)

※「3.～9.」の日数のうち仕事を休んで看った日数を口内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□ 日 ⇒ 問23へ  
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問22-6へ

問22-6 問22-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない  
2. 自営業なので休めない  
3. 休暇日数が足りないため休めない  
4. その他( )

**宛名のお子さんの不規則な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問23 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数(年間)	日数
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□□ 日
2. 幼稚園の預かり保育(通常の放課後時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ)	□□ 日
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	□□ 日
4. 夜間看護等事業・トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保育する事業)	□□ 日
5. ペビシーター	□□ 日
6. その他( )	□□ 日
7. 利用していない	□□ 日

問23-1 問23で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない  
2. 利用したい事業が地域にない  
3. 地域の事業の質に不安がある  
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない  
5. 利用料がかかる・高い  
6. 利用料がわからない  
7. 自分が事業の対象者になるかどうかかわらない  
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない  
9. その他( )

問24 宛名のお子さんについて、私用・親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。(あてはまる番号・日数すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計
① 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の買い仕事等)、リフレッシュ目的	□□ 日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院・介護等	□□ 日
③ 不規則の就労	□□ 日
④ その他( )	□□ 日

2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ

問24-1 問24で「1. 利用したい」に○をつけた方うかがいます。  
問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- 大規模施設で子どもを預かる事業 (例: 幼稚園・保育所等)
- 小規模施設で子どもを預かる事業 (例: 地域子育て支援拠点等)
- 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で開催する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等)
- その他 ( )

問25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)  
※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

1年間の対応方法		日数
1. あった	① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
	② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> 泊
	③ ②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	<input type="text"/> 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
	⑥ その他 ( )	<input type="text"/> 泊
2. なかった	⇒ 問26へ	

問25-1 問25で「1. あった ① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方うかがいます。 ⇒ 「1. ① 以外」を記載した方は、問26へ  
その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

宛名のお子さんが5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。  
⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。  
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。  
(例) 08時~18時のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」→地域によって学童保育などと併用されています。

- 自宅  日暮らし
- 祖父母宅や友人・知人宅  日暮らし
- 習い事、部活動(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)  日暮らし
- 児童館  日暮らし
- 放課後子ども教室  日暮らし
- 放課後児童クラブ(学童保育)  日暮らし → 下校時から  時台まで
- ファミリー・サポート・センター  日暮らし
- その他(公民館、公園など)  日暮らし

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答  
※2 「放課後子ども教室」…地域の公民館の部会を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化活動などを体験する取組です。保護者の協力が得られる限り、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。  
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。  
(例) 08時~18時のように24時間制でご記入ください。  
※1は先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

- 自宅  日暮らし
- 祖父母宅や友人・知人宅  日暮らし
- 習い事、部活動(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)  日暮らし
- 児童館  日暮らし
- 放課後子ども教室  日暮らし
- 放課後児童クラブ(学童保育)  日暮らし → 下校時から  時台まで
- ファミリー・サポート・センター  日暮らし
- その他(公民館、公園など)  日暮らし

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

問28 問26または問27で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方うかがいます。  
⇒ 該当し41頁、問30へ  
宛名のお子さんについて、土曜日・日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。  
(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○)  
※事業の利用には諸経費等一定の料金がかかります。  
※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。(例) 08時~18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
2. 高学年(4~6年生)の間も利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯  時台から  時台まで

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
2. 高学年(4~6年生)の間も利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯  時台から  時台まで

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)  
※事業の利用には諸経費等一定の料金がかかります。  
※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。(例) 08時~18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
2. 高学年(4~6年生)の間も利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯  時台から  時台まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父のいずれかもしくは母が育児休業を取得しましたか。  
(母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)  
※取得していない方はその理由をご記入ください。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である) ⇒ 問30-2へ	2. 取得した(取得中である) ⇒ 問30-2へ
3. 取得していない	3. 取得していない
⇒ 取得していない理由(下から番号を選んで記入ください。いくつでも)	⇒ 取得していない理由(下から番号を選んで記入ください。いくつでも)

- 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が増えた
- (産休後) 仕事に早く復帰したかった
- 仕事に復帰が難しかった
- 昇給・昇格などが遅かった
- 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 産前産後などに休むことができた
- 配偶者が育児休業制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
- 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 育児休業を取得できることを知らなかった
- 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
- その他 母親 ( )
- 父親 ( )

問30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを存存していたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30-2 問30で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。  
⇒ 該当し441方は、問31へ  
育児休業取得後、職場に復帰しましたが、(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問30-3へ  
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ  
3. 育児休業中に退職した ⇒ 問31へ

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問30-3へ  
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ  
3. 育児休業中に退職した ⇒ 問31へ

問30-3 問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたが、あるいはそれ外でしたか。(どちらか1つに○)  
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1。」に当てはまります。  
※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1。」と回答してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたが、また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取り戻したかったですか。  
※口内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間  歳  ヶ月 希望  歳  ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間  歳  ヶ月 希望  歳  ヶ月

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取り戻したかったですか。  
※口内に数字でご記入ください。

(1) 母親  歳  ヶ月 (2) 父親  歳  ヶ月

問30-6 問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。  
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため  
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため  
5. その他 ( )

②父親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため  
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため  
5. その他 ( )

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親

1. 希望する保育所に入らなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため  
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため  
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため  
6. その他 ( )

②父親

1. 希望する保育所に入らなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため  
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため  
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため  
6. その他 ( )

問30-7 問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
⇒ 該当し441方は、問30へ  
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)  
2. 利用した  
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)  
2. 利用した  
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問30-8 問30-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。  
⇒ 該当し441方は、問31へ  
短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった  
2. 仕事が忙しかった  
3. 短時間勤務にする給与が減額される  
4. 短時間勤務にする保育所の入所申請の優先順位が下がる  
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した  
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた  
7. 子育てや家事に専念するため退職した  
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)  
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった  
10. その他 ( )

⇒ 問31へ

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった  
2. 仕事が忙しかった  
3. 短時間勤務にする給与が減額される  
4. 短時間勤務にする保育所の入所申請の優先順位が下がる  
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した  
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた  
7. 子育てや家事に専念するため退職した  
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)  
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった  
10. その他 ( )

⇒ 問31へ

問30-9 問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。  
⇒ 該当し441方は、問31へ  
現在のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。  
(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問31 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)


満足度が低い ←-----→ 満足度が高い

1 2 3 4 5

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。  
同封の返信用封筒に入れ、12月10日(月)までに  
入所している保育園、認定こども園、幼稚園へご提出ください。  
また、郵送で届いた方は返信用封筒(切手は貼らず)に  
12月10日(月)までにご投函ください。





平川市  
子ども・子育て支援事業に関する  
ニーズ調査結果報告書

発行日 平成 31 (2019) 年 3 月

発行元 平川市役所 健康福祉部 子育て健康課 子ども支援係

住 所 〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山 16 番地 1

TEL 0172-44-1111 (内線 1152)

FAX 0172-44-0068

URL <https://www.city.hirakawa.lg.jp/>

この印刷物は 50 部作成し、印刷経費は 1 部あたり 1,620 円です。

